Planck の仮定とボルツマン分布によるエネルギー期待値の説明と，Rayleigh-Jeans 式が期待値をはじめから kT に想定していたことを話す．等比級数の公式を与えて，演習として Planck の式を導出させる．また，R-J 式が近似解として求まることも計算させる．ここから，Planck の仮定が正しそうであることを告げ，波動である電磁波に粒子性が加わることを述べる．

次いで，粒子性を実験的に確かめた事例として，光電効果の解説に入る．実験方法と Einstein の解釈まで述べる．